

## アグリビジネス創出フェア in 東海 出展内容のご紹介 - 4 -

2023年度アグリビジネス創出フェア in 東海を12月7日、8日に開催します。  
12月7日（木）は展示会です。会場はウインクあいち8階展示場で、13:00-17:00の展示です。是非会場までお越しください。連載で出展内容を紹介していきます。

### ブース展示

#### 岐阜県中山間農業研究所

岐阜県中山間農業研究所では、中山間地域の農業が魅力ある産業として維持・発展していくことをめざし、省力化、効率化、ブランド力向上につながる技術開発や新品種育成に取り組んでいます。本フェアでは、生産者の高齢化が著しく生産力低下が懸念されるクリ栽培において、栽培管理上のネックとなっている収穫作業の省力・軽減化のため、農業機械メーカー及び茨城県と共同開発した国内初の自走式クリ収穫機について紹介します。

#### 岐阜県立恵那農業高等学校

本校ではキュウリの有機栽培に10年以上取り組んでいます。私たちは持続可能な社会・農業の実現に向けて有機農業を軸に、“生産者と消費者”2つの視点から活動をしています。消費者には、収穫体験イベントや販売を通して持続可能な農業への理解を促進したり、生産者には有機農業の普及を目指し、より高収量な栽培技術について研究しています。

#### やまがたエゴマ協議会・農事組合法人おおが

(農)おおが、グランドグリーン(株)、農林事務所、市が「みどりの食料システム戦略緊急対策交付金」により事業を進め成果を発表。化学農薬・肥料を使わないエゴマの有機栽培技術の確立とスマート農業による機械化・省力化、生産拡大のための技術確立を目的としています。営農体と大学ベンチャーが連携して取り組んでいます。

#### 岐阜県農業技術センター

柿のサクサクとした食感は、官能評価による主観的な方法で有無について判定することしかできません。当センターで育成した「ねおスイート：天下富舞®」は、糖度を追及すると過熟気味になりサクサク感が喪失してしまいます。そこで、広島大学と共同で音響振動技術を用いてサクサク感を非破壊で測定できるウェアラブル装置を開発しました。

#### 岐阜県農業技術センター

岐阜県農業技術センターでは持続的な農業生産に向けた取り組み推進のため、化学農薬の使用量を削減する技術、防除作業の省力化技術などを開発しています。今回は、小型送風機「ブローアー」を用いた微生物農薬の風媒処理法や細霧ノズル等による頭上散布装置を利用した病害虫防除技術について紹介します。